

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2017 年度（前期）指定公募

「成人の在宅医・訪問看護師に対する小児在宅医療講習への助成」  
完了報告書

「テーマ」

小児在宅医療講習会（訪問看護師向け）

～小児の在宅、さわってみよう、試してみよう、人工呼吸器体験講習～

申請者：山本重則

所属機関：独立行政法人 国立病院機構 下志津病院

提出年月日：平成30年2月23日

## 【開催の趣旨】

団体名：独立行政法人国立病院機構下志津病院

代表者名：院長 石毛 尚起

活動内容：小児科、重症心身障害児者病棟、筋ジス病棟をもつ総合病院

歴史、沿革、趣旨、理念等の紹介：

下志津病院は重症心身障害児者病棟を 120 床運営するとともに、重症心身障害児者の短期入所事業や通園事業・通所支援事業を通して在宅医療を必要とする障害児者の支援を行っている。2011 年から周産期医療対策事業として一次支援事業を千葉県より受託し、呼吸器障害等の在宅医療を必要とする NICU 等から地域に移行した小児（ポスト NIC 児）の入院受け入れを積極的に実施している。

近年、医療の高度化に伴い、重症心身障害児者の医療レベルの高度化が起こっている。また既に在宅介護・看護の場合には家族・本人の高齢化に伴う問題も起きている。これらを背景にして、在宅等の地域生活支援、移行支援のニーズが高まっているが、同時に入所ベッドの空きと新設がないため、入所受入れの限界をうけて、当院では地域の社会資源の開発につながる活動を積極的に行っている。

平成 24 年度は厚生労働省の重症心身障害児者の地域生活モデル事業を受託し、千葉県重症心身障害児者地域生活支援ネットワーク協議会を立ち上げた。

今回応募した研修会は、このネットワーク協議会を通じて県内の訪問看護ステーションに声をかけ、講習を行うものである。当院は入院外来を含め 100 台以上の人工呼吸器を管理しているため、これまで小児を受け入れることに消極的だった看護師にも、実用的な講習ができるものと思っている。重症心身障害児者のみならず、小児全般の在宅医療促進につながることを期待できるものである。

## 開催内容

【開催日時】 第1回 平成29年10月25日（水） 18：00～19：30  
第2回 平成30年1月24日（水） 18：00～19：30

【開催場所】 国立病院機構 下志津病院 療育訓練室

### 【対象者（周知先）】

千葉県内訪問看護ステーション、千葉県重症心身障害児者支援ネットワーク協議会参加病院・施設

### 【各回の参加者数】

第1回 申し込み 14社34名 当日参加 30名  
第2回 申し込み 16社43名 当日参加 43名  
合計 73名の参加がありました。  
内訳：看護師、PT/OT、その他職種

### 【開催内容】

訪問看護ステーションの看護師向けに人工呼吸器の体験型講習を行った。小児が在宅で利用している機種を、当院MEの指導の下で、実際にパネルを触って設定を確認する動作を体験し、マスクを顔に当ててみるなどの体験を行った後、講師からの総合的な講演を聞き、参加者で意見交換を行った。

### 【協力メーカー】

- フィリップス・レスピロニクス合同会社  
東関東ブロック 東関東支店 千葉営業所 呼吸センター
- 株式会社 東機貿  
東京支店 クリティカルケアグループ レンタルチーム
- チェスト株式会社  
関東リージョン営業部東京VC所長
- コヴィディエン ジャパン株式会社  
RMS事業部 統括営業部 東日本営業部 埼玉・千葉営業課

### 【期待される効果・波及効果】

小児の在宅医療では人工呼吸器を自宅に持ち帰る場合が比較的多く、受け入れのハードルとなっている。このことから、人工呼吸器の体験型による講習を開催することによつ

て、あまりなじみのない機種や作業を医師のもとで確認し、受け入れに前向きになっても  
らえるなど、理解の促進と連携の効果が見込めると考えた。また、講演により人工呼吸器  
以外の小児在宅への情報を提供し、地域での受け入れを促進できたと考えた。

#### 第1回チラシ

### 研修会開催のお知らせ

小児在宅医療講習会（訪問看護師向け）  
～小児の在宅、  
さわってみよう、試してみよう、  
人工呼吸器体験講習～

平成29年10月25日(水)

18:00～19:30

場 所: 下志津病院 療育訓練室

- ① 小児が在宅で利用している機種機材を、  
実際にパネルを触って設定を確認する  
動作や、マスクを顔に当ててみるなどの  
体験と、意見交換
- ② 講演 ～小児在宅の実践について～  
講師: まちのナースステーション八千代  
福田 裕子様

参加希望の方はお電話、またはFAXでお申込ください。締切:10月20日  
\*この研修会は第2回(1月下旬)とセットの開催なので、ご参加の方はできるだけ次回も参加  
をご検討いただけるよう、お願いいたします。

問い合わせ先: 国立病院機構 下志津病院 担当:MSW川口  
TEL:043-422-2511(代)・FAX:043-422-3437(直)

この研修は、公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団の  
助成を受けています。

研修会開催のお知らせ

小児在宅医療講習会（訪問看護師向け）

～小児の在宅、  
さわってみよう、試してみよう、  
人工呼吸器体験講習～

平成30年1月24日(水)

18:00～19:30

場 所:下志津病院 療育訓練室

① 小児が在宅で利用している機種機材を、  
実際にパネルを触って設定を確認する  
動作や、マスクを顔に当ててみるなどの  
体験と、意見交換

② 講演 ～小児在宅の実践について～

講師: なないろこどもクリニック

山口 朋奈 医師

この研修は10/25開催分とセットでの開催です。  
できるだけ2回参加をお願いいたします。

参加希望の方はお電話、FAXでお申込ください。締切:1月17日

問い合わせ先: 国立病院機構 下志津病院

TEL:043-422-2511(代) FAX:043-422-3437(直)

この研修は、公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団の  
助成を受けています。



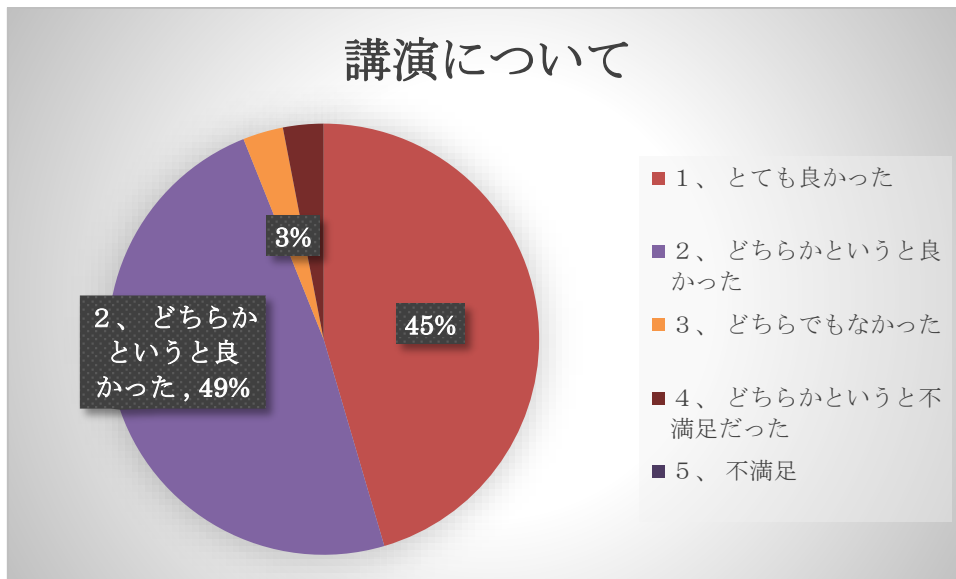
**【体験】** メーカー4社のブースに班別に別れて、行った。



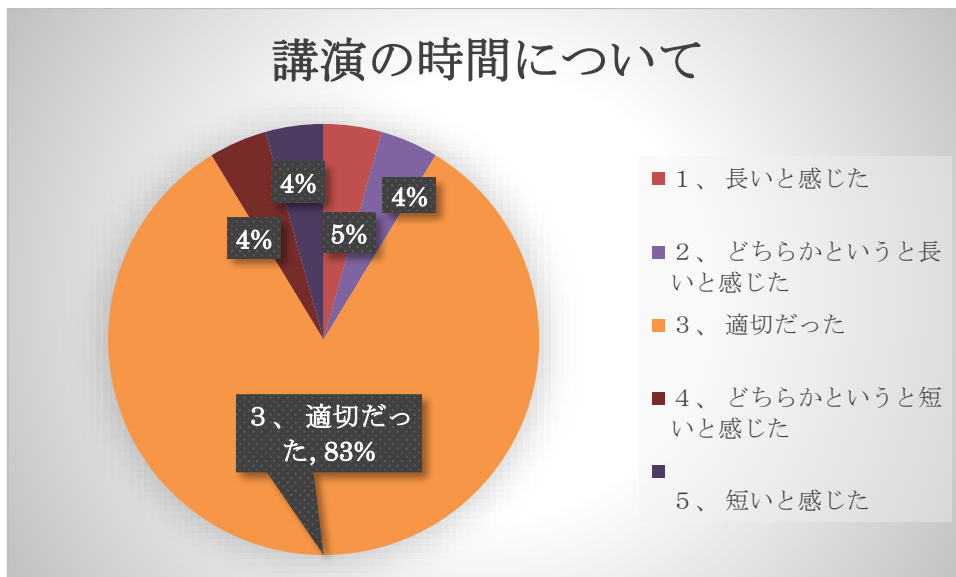
**【講演】** 体験後、講演を聞き、意見交換を行った。



参加者 合計 30 名      回収率 76.6% (23/30 件)

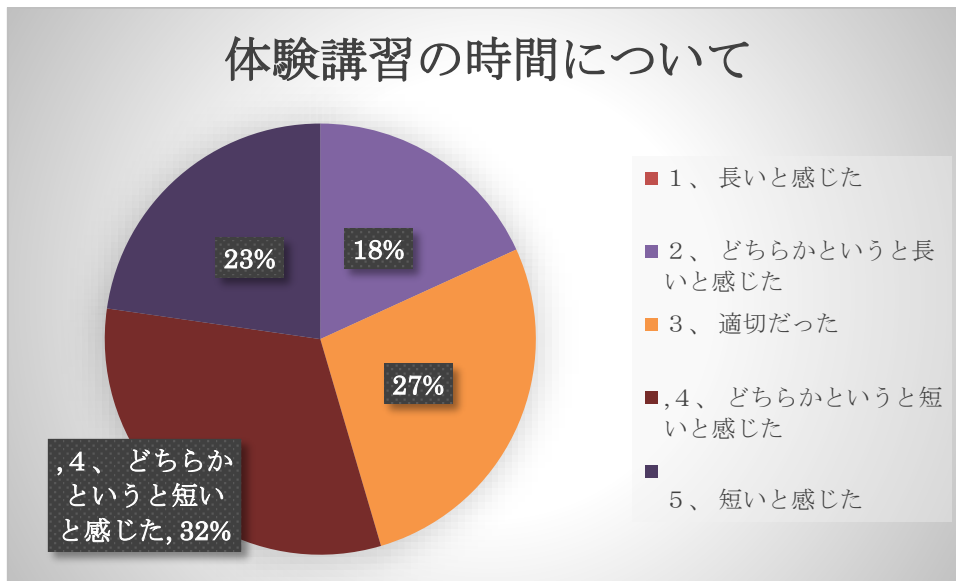


1、とても良かった、2、どちらかという良かったを合わせると、94%だった。



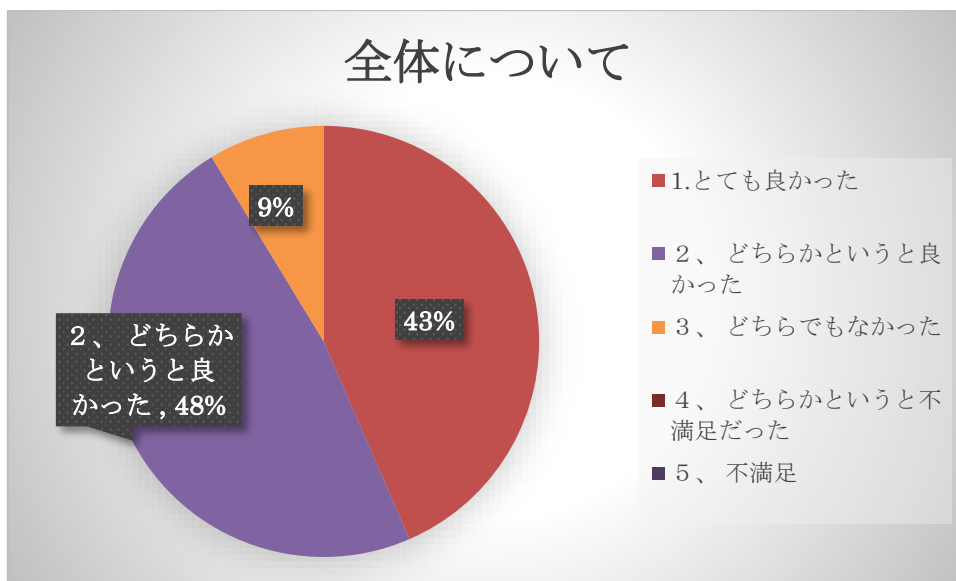
3、適切だったが、83%だった。

## 体験講習の時間について



2、どちらかというとも短いと感じたが一番多く、3、適切だったが次に多かった。

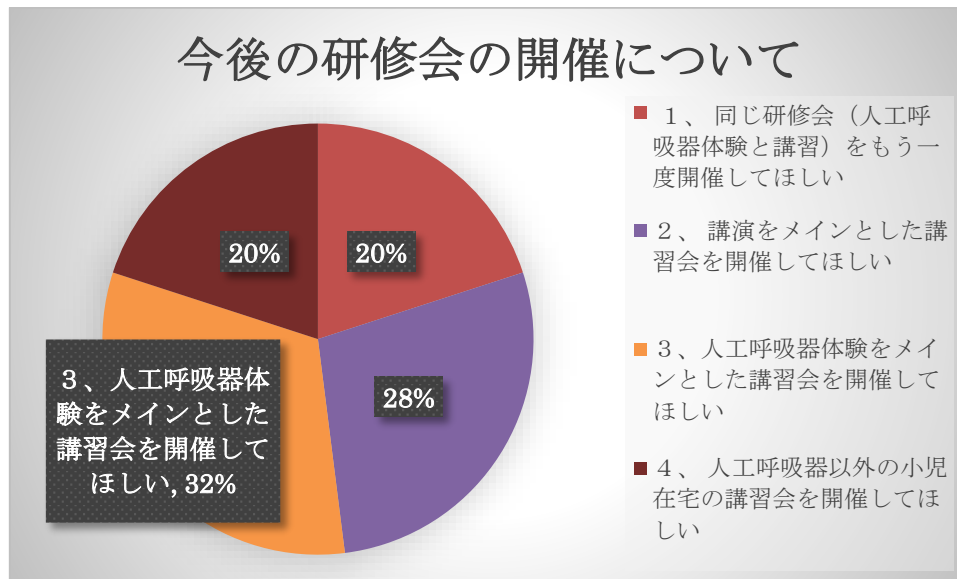
## 全体について



1、とても良かった、2、どちらかというとも良かった、を合わせると、91%だった。



## 今後の研修会の開催について



\*複数回答あり

3、人工呼吸器体験をメインとした講習会を開催してほしいが一番多かった。

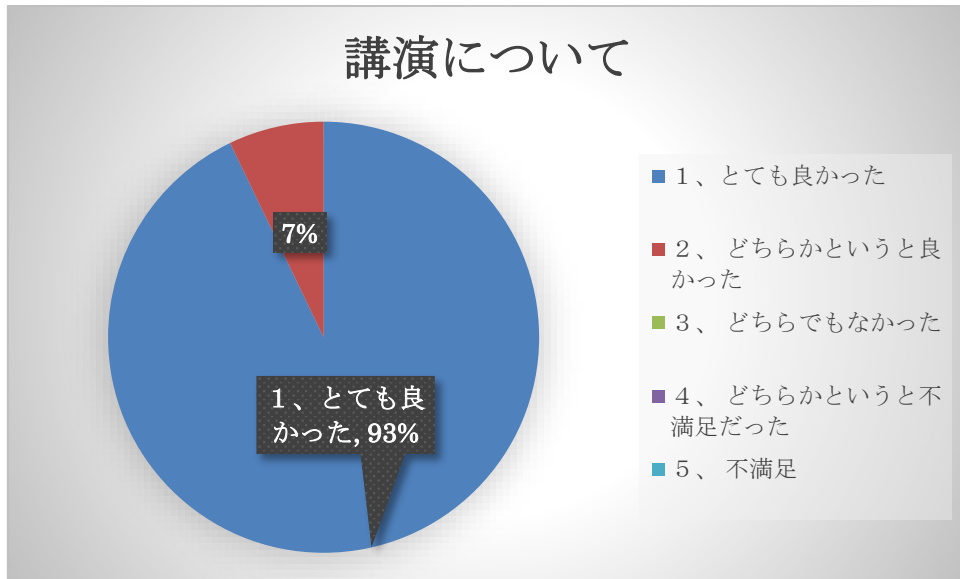
4、人工呼吸器以外の小児在宅の講習会を開催してほしい場合の自由記載欄の内容

- ・入浴介助のしかたや、ケアに関すること
- ・ポジショニング
- ・小児分野そのものへの理解が浅いため、総論的なもので全体像がつかめる内容（入門編）

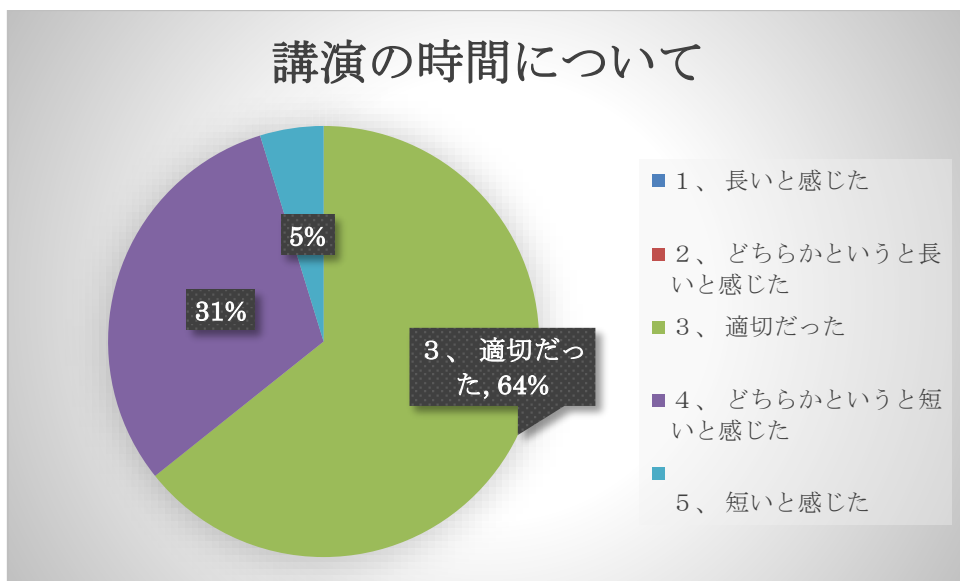
自由記載欄集計(14件)	
1	実際に使われている人工呼吸器を見せていただけて、なかなかできない体験ができてよかったです
2	今回の研修会では様々な人工呼吸器が知ることができて、非常に参考になりました。次回以降においては実際に人工呼吸器を利用しながら在宅でどんなケアを受けているのかなど、より生活に沿って研修をしていただけると、イメージもしやすく受け入れにつながっていくのではないかと感じております。今後も研修、勉強を通じて、受け入れの強化を図ってきたいと思います。
3	人工呼吸器を体験できる事などないため、貴重な時間でした。講演を聞かせていただき、他事業所間の連携は参考にしていきたいと感じました。
4	実際の患者さんがカフアシストをしていたので、体験できたことはとてもよかったです。マスクの当て方や苦しみの程度など、体験しなければわからない感覚を知れてよかったです。
5	講習の1社ごとの時間が短かったので(また途中からグループの人数が増えた)もう少し持ってきてくださった物の説明が聞きたかったです。次回も楽しみにしています。
6	人工呼吸器を数社そろえていただき、実際に体験できたことは貴重だった。時間的にとても短く感じたので次回も参加させていただいて、もう少し学びを深めたいと思った。側彎のある児のポジショニングについて学べる機会がほしいと思う。
7	複数の企業の機器が同時に見ることができ良かったです。スケジュール上やむを得ないのかもしれませんが、もう少しゆっくり話を聞ければと思います。次回もよろしくお願いします。
8	実際呼吸器を使用しているお子さんに訪問している時、ご家族が用事を済ませる等、利用者の方と二人になる場面があります。もちろん連絡先、呼吸器に不具合が出た時の対処方法等聞いてはいますが、研修で細かく教えていただける機会があるとありがたいです。
9	実際に人工呼吸器に触れてみることで、体験できたのはとてもよかったです。メーカーによって少しずつ違いがあったのですが、時間の関係ですべて見ることはできませんでした。
10	触ったことのない人工呼吸器について学ぶことができてとても勉強になりました。講演もよかったです。
11	在宅で使用する人工呼吸器を初めて目にしました。各業者さんがせっかく来て下さっているので、もう少し長めに、そして説明が聞こえるようにしてほしいです。講演会では訪看のかかわりがわかりやすかった。療育機関との連携も知りたいです。
12	実際に人工呼吸器の体験をすることができ、とても勉強になりました。
13	業者さんの場所が狭く、隣のブースの人たちの声が聞こえたり、逆に声が小さくなったりで聞き取りづらかった。
14	実際に機器に触れる期間がないため、参考になりました。またもう少し時間をかけて体験できたら嬉しいです。

## 第2回 参加者アンケート集計結果

参加者 合計 43 名      回収率 97.7%(42/43 件)

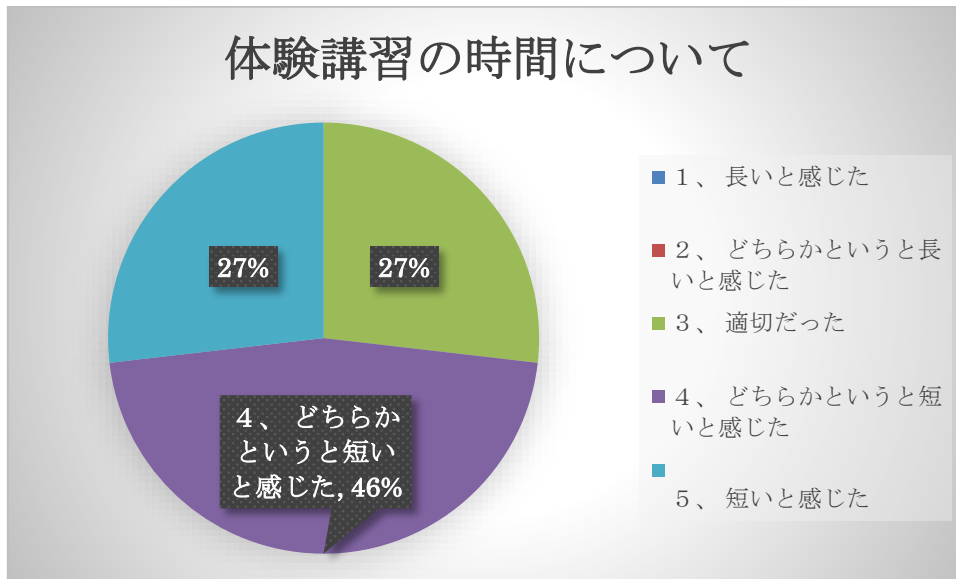


1、とても良かった、2、どちらかという良かった、を合わせると 100%だった。



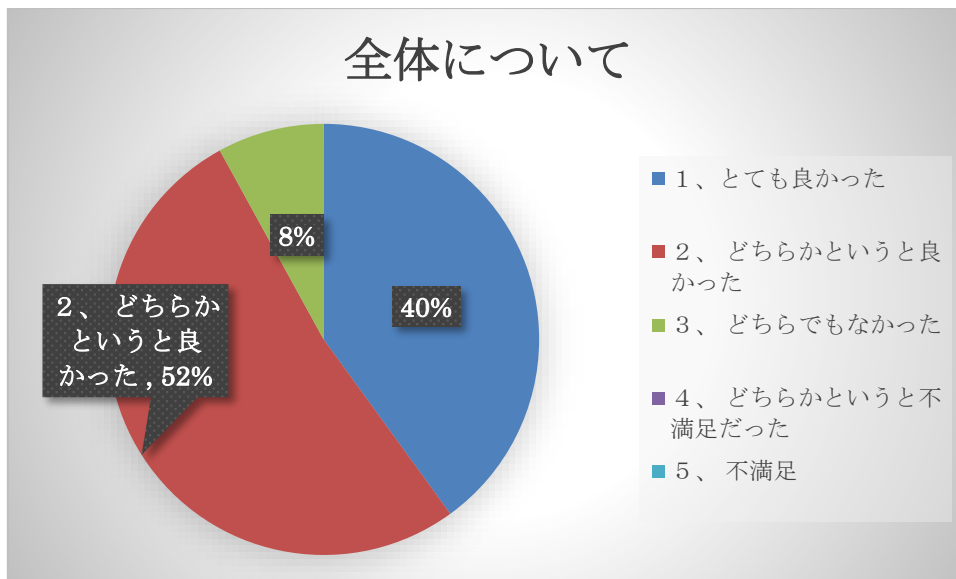
3、適切だった、が 64%だった。

## 体験講習の時間について



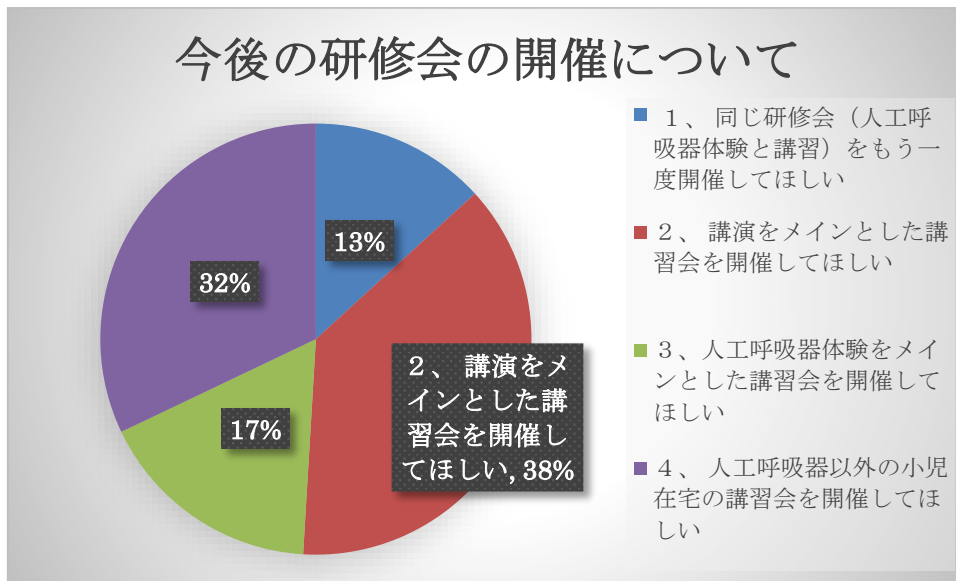
4、どちらかというとも短いと感じたが一番多く、5、短いと感じたが次に多かった。

## 全体について



1、良かった、2、どちらかというとも良かった、を合わせると、92%だった。

## 今後の研修会の開催について



\*複数回答あり

2、講演をメインとした講習会を開催してほしいが一番多かった。

### 4、人工呼吸器以外の小児在宅の講習会を開催してほしい場合の内容

- ・ 概論的なもの、小児在宅の現状（全国・県）
- ・ けいれん等
- ・ 発達していく児と母への対応
- ・ 体位ドレナージなど
- ・ 小児在宅のリハビリ
- ・ 摂食について
- ・ 療育等との連携方法について
- ・ 小児が在宅で受けられる社会資源やサービスについて

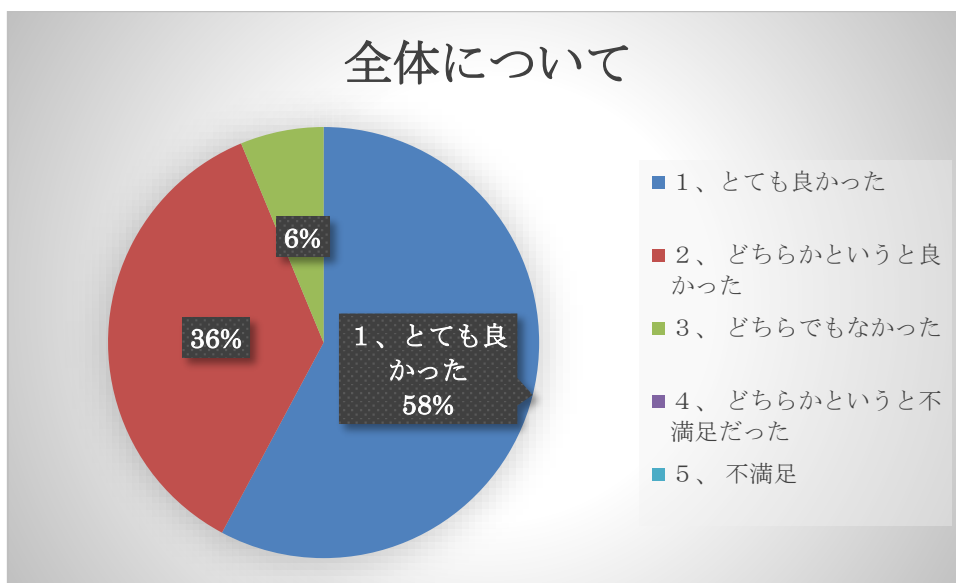


自由記載欄集計(23件)

1	多くのメーカーの機器に触れることができ良かった。実践に即した内容でぜひやってほしい。
2	実際の機器体験ができ、ご利用者様の気持ちがわかりました。なるべく安楽に、そして適切にケアしていけるよう、体験を生かしたいと思います。小児の人工呼吸器装着者は1件しか経験がありませんが、今後在宅で過ごす子供が増えていくようなので、学び続けたいと思います。小児の場合、お母様は子供のケアのスペシャリストになれていることが多いので、信頼していただけるようなケアを提供できるようにしたいです。
3	訪問看護のPTです。小児の在宅をサポートする活動をしたいのですがイマイチ、リハ職種がなにをすべきかわかりません。エキスパートの先生の話を知りたいです。
4	実際に依頼をいただいたときに、やはりどうしようという思いが出てくると思います。ですが、行先も選択できない子供たちのためにも必ず受け入れのできるステーションの体制を整えていきたいと感じました。
5	まだ私の訪問している地域では小児のネットワークが確立していないので、実際に訪問をしている看護師、リハビリの訪問、地域連携の取り方(実際の方法)を知りたいです。
6	講義もとても勉強になりました。機械の体験も多くのレスピに触ることで、とっかかりが低くなり、とてもよかったです。
7	とても勉強になりました。
8	呼吸器を実際に体験できるのは初めてだったので、良い経験になりました。
9	人工呼吸器の体験はあまり必要ないかなと思いました。医師の講義はとても勉強になりました。
10	以前も書きましたが、業者が来てくださっていても、とても短時間である。
11	先生の講義はとてもわかりやすく、注意すべき所もよくわかりました。
12	病棟勤務ですが、講義の内容はためになることが多く、仕事に生かしたいと思いました。
13	まだ小児は受けていないのですが、とても参考になる内容でした。
14	小児在宅の講演を聴く機会が少ないので勉強になりました。
15	講演がとてもよかったです。勉強になりました。
16	実際の機器と講義でとても勉強になりました。
17	今後もこのような研修会を開いていただきたいです。
18	小児は未経験の訪問看護ステーションです。先天異常の小児がこれから増えていくと思われる中で、とても勉強になりました。
19	体験をもう少しゆっくりできるように増やしてほしい。1つのブースだけでいいのでじっくり体験したい。
20	今回実際に人工呼吸器のたくさんの種類を見せて頂くことができ良い機会となりました。

21	実際に人形でもよいので呼吸器を装着したりできると良いなと思いました。さらに人工呼吸器の現場での見学のようなものができるとうれしい。
22	メーカーの体験の時間が短すぎて説明も十分に聞けなかった。とても勉強になりました。講演は知らない現場の医師の情報など聞けて、とてもよかったです。
23	医療の現場の様子に触れ合う機会がなかなかないので、とても貴重な体験をさせていただいたと感謝申し上げます。また機会がございましたら、参加させていただければと思います。
24	人工呼吸器に携わったことがないので、今後も講演等参加していきたいと思います。気切管理が理解できてよかったです。

## 第1回、第2回を合わせた全体の結果



1、とても良かった、2、どちらかという良かった、を合わせると、94%だった。

## 【まとめ】

アンケートの結果を集計すると、第1回、第2回を通して、「講演」に対してはととてもよかった、時間は適切だったとの結果が多く、「講演」への満足度はとても高かった。

本研修は2回を1セットとして開催し、第1回の講師を訪問看護ステーションの所長、第2回を訪問小児科医とし、講演の内容に連続性があるように演者の選定を行った。そのため、第1回で実践の内容を聞き、第2回で実践の注意点を聞くことができ、参加者側の第1回で生じた疑問や不安を解消することができたのではないかと考えている。

今回開催まで、演者の選定に時間がかかり、ポスター制作がぎりぎりとなったが、結果的に参加者のニーズに合致したものであったと考えている。

今後の研修会の講演としては、演者は全般的な話から各論までできる実践現場の方が望ましく、内容は実際に新規で小児を受け入れた場合の注意点やリスクマネジメントについて話せる医師等が望ましいと考えられる。

人工呼吸器の「体験講習」に対しては、参加者の習熟度や職種によってばらつきがみられたが、割合として時間が短かったという意見が多かった。この研修は、普段小児の人工呼吸器を扱っていない事業所をターゲットとして、より多くの方に参加いただけるように、平日夕方の勤務後の時間帯に設定したため、開催時間の制限があり、内容に対して時間が不足したものと思われる。また、複数メーカーの機器を比較することで平均的な理解を狙ったため、1メーカーの所要時間が短くなった。このような機会そのものが少なく貴重だったとの意見も多かったため、参加者には今回より長時間の内容での研修ニーズがあることが分かった。

今後の「研修の開催してほしい内容」に関しては、第1回と第2回でわかれ、自由記載欄にも多彩な内容の記載があり、重複したものがほぼなかった。このことから、全体的に平均した多方面へのニーズがあることが読み取れた。どこの部分が特に困っているというよりも、小児在宅の全体に関して情報が不足していると思われる。開催前の問い合わせも多く、この研修への関心が非常に高かったことも合わせると、今後は、土日祝日などで1日を使った、全体を網羅した講習会の開催が、期待されていると考えられる。ニーズが把握できたので、ぜひ今後も、この研修会の結果を受けた研修等を開催して行きたい。

## 【謝辞】

今回、勇美記念財団の助成を受けることにより貴重な研修を開催できた事に、深く感謝申し上げます。

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による